

はじめに

道路は、人の移動や物資の運搬等、社会・経済活動を支える基盤として重要な役割を果たしており、市街地形成、防災空間、環境空間、ライフライン等の収容空間としての空間機能を持っています。

日本は、JTRC[※]の前身である RTR(Road Transport Research Program)の時代から研究活動に参加し、道路財源、渋滞対策、交通安全、環境等の様々な問題で、各国の交通行政担当者と共同の研究を進めてきました。

国土交通省国土技術政策総合研究所（以下、「国総研」という）は、平成 24 年 12 月 7 日に JTRC 及び社団法人日本道路協会と 3 機関の共催にてセミナーを開催いたしました。本セミナーは、道路分野のアセットマネジメント及び自転車交通等に関する発表を行ったものであり、本資料は発表時の資料と議事録をとりまとめたものとなっております（英語での発表については、当日の逐次通訳を議事録としております）。

末尾ながら JTRC（OECD/ITF 共同交通研究センター）、社団法人日本道路協会、セミナー発表者及び関係者の皆様のご指導、ご協力に感謝するとともに、国土技術政策総合研究所に対する変わらぬご支援をお願い申し上げます。

※JTRC（OECD^{※1}/ITF^{※2} 共同交通研究センター）

OECD-ITF Joint Transport Research Centre

JTRC は、陸上交通を中心として、交通分野における安全、セキュリティ、環境等の広範なテーマについて研究を行う研究センターです。2004 年 1 月に、ECMT^{※3}（ITF の前身）の研究部門と OECD の道路研究部門（RTR）を統合し、JTRC（OECD/ECMT 共同交通研究センター（当時））が設立されました。3 年単位で事業計画が策定されており、これに基づき調査・研究が実施されています。

※1OECD…Organization for Economic Co-operation and Development : 経済協力開発機構

※2ITF…International Transport Forum : 国際交通大臣会議

※3ECMT…European Conference of Ministers of Transport : 欧州運輸大臣会合

平成 26 年 1 月

国土技術政策総合研究所
企画部 国際研究推進室長 曾根 真理